

Network newsletter

2015.10
No.28

目次

- 「まちを育む市民と行政の協働交流会」・・・P1
- ネットワーク Report
 - ・小牧市新入職員協働研修・・・P2
 - ・まちのかたり場
 - ・小牧市民まつり 夢・チャレンジ げんき村
 - ・センター出張事業・・・P3
- インターンシップ生レポート
- 企業との協働 企業×こまき市民活動ネットワーク・・・P4
 - ・カゴメ こまき「リコピン学校」収穫祭
 - ・CKD [モノづくり] から学ぶ理科教室
 - ・住友理工 夢・街・人づくり助成金 in 北尾張
- 委員会・実行委員会だより 市民活動祭実行委員会・・・P5
- information
 - 11-2月の予定、新会員紹介など・・・P6

平成 27 年度小牧市市民活動センター 協働啓発事業

「まちを育む市民と行政の協働交流会」

今年もやります!



「協働のまちづくり」には協働のパートナーとなる**市民活動団体**と**行政**がお互いを良く知り、気軽に交流が行えるような**顔の見える関係**を築くことが必要不可欠です。

そこで、昨年に続き、地域の課題について学びあい、情報交換をし、共通の目的やお互いの得意分野を知って交流を深めることを目的に**協働交流会**を開催します!

日時

11月24日(火)

午後6時30分～8時30分

会場

小牧市役所本庁舎6階601会議室

※グループ分けを行いますので、参加される団体は11月3日(火)までに、市民活動センター(74-4011)までご連絡ください。



▲昨年の協働交流会の様子

ご自分を動物にたとえると? 自己紹介では、動物ハンコが皆さんのPRをお手伝いします。



ネットワークReport

平成27年度協働提案事業化制度 小牧市新入職員「協働」研修事業

こまき市民活動ネットワークと行政経営課との協働提案事業として、平成24年度に採択を受け25年度より実施している『小牧市新入職員「協働」研修事業』の、本年度第1回目の研修会を開催しました(本庁舎6階601会議室)。

参加者23名は、市民活動や協働の基礎知識を学んだあと、市民活動団体の代表者から直接活動の様子を聞き、理解を深めました。その後、これらを踏まえて、協働を進める上での課題やその解決方法についてグループでディスカッションし、意見を出しあいました。

引き続き、11月4日(水)に第2回目の研修会を予定しています。

7/30
(木)



▲協働を進めるにあたり何が課題となるか、グループで話し合った内容を発表しました。

平成27年度小牧市市民活動センター 人材育成・研修・交流促進事業 まちのかたり場



▲グループディスカッションで、助言をする川北氏

小牧の将来についてみんなで考える「まちのかたり場」を開催し、約70名が参加しました。

今年で3回目となる今回は、講師に川北秀人氏(IIHOE代表)を迎え、これまでに出了まちの課題に対し、具体的な解決策について考えることが目標。参加者は、住まいの地域ごとにグループに分かれ、自身の地域の取り組みについて洗い出しを行ったのち、今後どうしていくべきかについて話し合いました。

8/22
(土)

第36回小牧市民まつり 小牧山会場 夢・チャレンジげんき村

小牧山会場ですっかりお馴染みとなった「げんき村」。今年は、会場が小牧山会場南入口エリアに移動し、レイアウトも一新。22団体がさまざまな体験ブースを並べる中、恒例のスタンプラリーに加え「げんき村子ども相撲」、「水鉄砲アート」、「音の輪会 presents アコースティックライブ」なども企画し、両日とも多くの親子連れで賑わいました。

汗ばむ陽気の中、げんき村を盛り上げてくださった出展団体みなさん、お疲れ様でした！



▲「はっけよい、のこった！のこった！」
たくさん子ども達が参加したげんき村子ども相撲！

10/17
(土)

18
(日)

こまき山スタンプラリーには、約1000人の子ども達がチャレンジしてくれたコマ！



▲音の輪会 presents のライブでは子どもたちも一緒にステージで歌いました♪

平成27年度小牧市市民活動センター運営・管理事業 センター出張事業

今年度の新たな事業として、市民活動センター職員が、団体などの活動場所に出かけていく「センター出張事業」を行っています。

出張先では活動の様子を見学し、時には体験させていただきながら、活動への想いや苦労している点などさまざまな話を伺い、相談があれば助言などさせていただいています。

「百聞は一見にしかず」とはまさにこのこと。足を運ぶことで知ること、気づくことがたくさんあり、学ばせていただくことも少なくありません。市民活動団体に限らず、地縁団体にも出張を予定しています。



インターンシップ生レポート (8月21日～9月5日)



私は、こまき市民活動ネットワークにインターンシップでお邪魔させていただいた中部大学経営情報学部経営会計学科の佐野晃寛と申します。私は、接客業のアルバイトを行っているのですが、お客様とのコミュニケーションがうまく取れずにおり、社会に出てからも必要なものと考えていたため、今回ここならいろいろな方と話し、コツを掴めるのではないかと思います。参加させていただきました。

こまき市民活動ネットワークは、電話や来客が多くとても忙しい職場でしたが、スタッフの皆さんは、それに対して素早く対応し、企業や団体の方と仲の良いコミュニケーションを取っていたことが印象的でした。研修期間は11日間あり、その中で『まちのかたり場』や『こまき市民活動祭“ええがね！こまき”』というイベントに参加させていただいたり、広報のための取材を同行させてもらうなど、普通の企業ではなかなかできない量の量と内容の体験を受け、学ばせてもらいました。

インターンシップを受ける前では、「働く」ということに対して曖昧で漠然としたイメージしか浮かび上がりませんでした。イベントに参加し来場者の方々に喜んでいただくことにやりがいを感じ、また声をかけていただくことによってやる気が出てきました。こういった事のために「働く」ことも必要のように思いました。

今回学んだことや失敗したことをただ良かった、悪かっただけで済ませるのではなく、今後の大学生活、就職活動、社会人としてどうにかせるかが重要であると思いました。

インターンシップで学んだ経験はかけがえのないものとなりました。残りの大学生活をここで感じたことを活かして頑張りたいと思います。11日間本当にお世話になりました。